



はまちゃんの 景観まちづくり日記

景観まちづくり推進員の
濱崎が担当するコーナーです



くっちゃんが好き!

倶知安町 文字 一志 町長



「景観=ふるさと」～身近なところから大切に～

Q.なぜ倶知安町では景観を大切にしようと考えているのでしょうか。

A.景観をわかりやすい言葉に置き換えて考えると「ふるさと」であり、風景、建物、街並みなどの景観を大切にすることは、ふるさとを大切にすることにつながっていると思います。

例えば羊蹄山の風景は住民にとっても観光客にとってもシンボリックな存在になっていて、このような風景的な景観は倶知安町の最大の魅力だと考えています。このような魅力をいかに大切にしていけるかが景観において最も大事なことではないかと思っています。



Q.倶知安町は移住者も多く、景観(ふるさと)を大切にしようというところ難しいように思いますが、どのようなところを大切にしてほしいと思っていますでしょうか。

A.景観を大切にしようという思いは誰かから与えられるものではなく、自らで感じていかなければならないところだと思います。その中で「じゃがまつり」や「雪トピア」といったイベントや町内各所で見られる花壇など、地域の身近にあるものをきっかけにふるさと「くっちゃん」を感じてもらえるようにしていきたいと思っています。

くっちゃんの小話



倶知安の道路の基準 ～基線と基号線(零号線)～

格子状の道路や北〇条〇丁目、〇〇十字街などの地名を見ると東京出身の私は北海道だなあと感じますが、倶知安原野でも同様に格子状に道路開発が行われました。この格子状に交差する道路は開拓当初300間(約546m)の間隔で整備されましたが、実は横方向に「基線」、縦方向に「基号線(零号線)」という基準となる道路が存在します。基線はちょうど国道276号・メルヘン通りにあたり、メルヘン通りが「基線通り」と呼ばれるのはこのためです。基線より北側は「北1線...」、南側は「南1線...」と呼ばれ、南1線は駅南側の道道58号線にあたります。一方、基号線は町内寒別地区にあり、近くには「寒別零号」という名前のバス停もあります。基線と同様に基号線の東西で「東1号・西1号」となり、国道5号はちょうど西9号にあたります。(次号に続く)



倶知安原標の碑(北4条東1丁目)

◆活動報告「くっちゃんクイズスタンプラリー」を実施しました

2/18(日)に雪トピアフェスティバル2024の企画として地域おこし協力隊のメンバーとともに「くっちゃんクイズスタンプラリー」を実施しました。町内外から集まる子どもたちが倶知安に興味を持つひとつの機会になればと思い、企画しました。問題の難易度はあえて少し高めに設定しましたが、小さい子どもたちはスタンプラリーで、小中学生はクイズラリーでも楽しめるイベントにしました。当日は200名の参加を見込んで準備していましたが、わずか1時間半で予定数に達してしまいました。倶知安のことを楽しく知ることができる機会として、来年度の雪トピア含めさまざまな機会を作っていきたいと考えています。



◆クイズスタンプラリーの問題の一部を掲載します! 答えはこのページの下部にあります。

倶知安町中央公園(雪トピアフェスティバル2024会場)のある倶知安の市街地は昔、どんな場所だったでしょう?

- A.山の頂上 B.谷の底 C.湖の底 D.海の底

クイズの答えは「海の底」です。かつての倶知安は、海に面した町でした。現在では、海は干拓され、市街地が広がっています。



お問い合わせ/発行者 倶知安町まちづくり新幹線課

TEL 0136-56-8012 FAX 0136-23-2044

E-mail:keikan@town.kutchan.lg.jp

倶知安の自然の宝庫"旭ヶ丘公園"に行ってみよう!

◆散策におすすめ!春の旭ヶ丘は見頃の花がたくさん!◆

雪解け後の4月下旬～5月中旬に見頃の草花をまとめました。気持ちよく春の旭ヶ丘を楽しんでみませんか?



花言葉は"妖精たちの秘密の舞踏会" エゾエンゴサク(蝦夷延胡索)



花を咲かせるまで約8年!
カタクリ



旭ヶ丘で眠る"静かな瞳"
キクザキイチゲ



"奥ゆかしい美しさ"
エンレイソウ



見つけたら幸せが訪れるかも?!
ヤチブキ(エゾノリュウキンカ)



⚠ 散策時の注意点 ⚠

- ・今後も美しい旭ヶ丘を残していくため、散策路からは外れないようにしましょう。
- ・ツタウルシは触るとかぶれてしまいます。危険ですので触らないようにしましょう。
- ・5月頃からスズメバチが見られます。刺激しないように見守りましょう。

ツタウルシ



宮崎県日向市と都農(つの)町のまちづくりを見に行ってきました

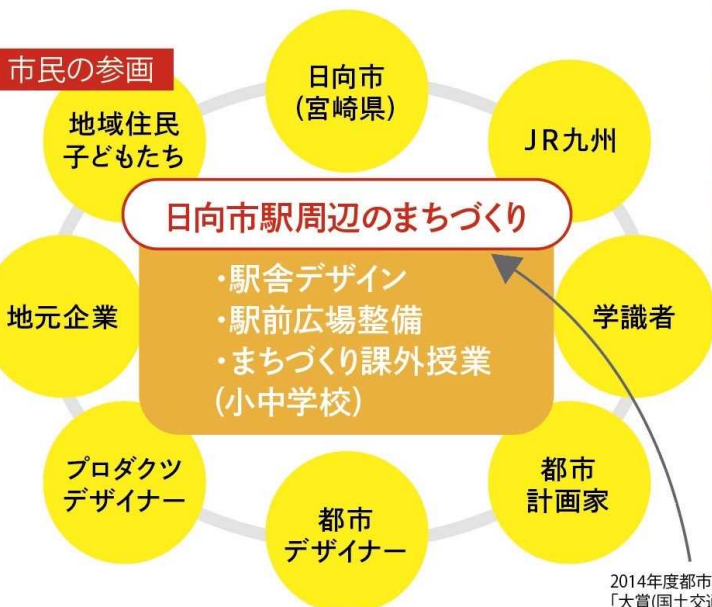
2/26-28の3日間、まちづくり新幹線課の3名で宮崎県の日向市および都農町に行ってきました。日向市では、北海道新幹線倶知安駅開業に向けた先行事例として、日向市駅周辺整備での市民の関わりや駅前広場の賑わいづくり、商工会議所による子どもたちのキャリア教育などについてお話を伺いました。都農町ではまちづくり会社の(株)イツノマが行っている民間主体の小中学生を対象としたまちづくりについてお話を伺い、「まちづくり部」の活動も見してきました。

●住民が参画したまちづくり

～日向市～

日向市駅周辺地区のまちづくり「産学官民連携による駅を中心としたまちづくり」

駅周辺のコンセプト：まちは舞台、人が主役
～デザインから関わる「市民」主役のまちづくり～



市民によって維持管理されている
日向市駅前広場と日向市駅



2006年の開業から18年経過した現在でも
ほのかに杉の香りがする日向市駅ホーム



駅前広場でのイベントの様子(日向市役所提供)



日向市では日向市駅周辺の中心市街地の空洞化などを解決するため、日向市駅の高架化や駅前広場の設置をはじめとする日向市駅周辺整備を1994年から実施しました。
この整備では、有識者会議での内容を市民に必ず共有するとともに、シンポジウムの開催や現地でのワークショップの実施などデザイン面の検討から市民が関わるができる仕組みが構築されました。(歩道と車道の段差の検証にまで市民が関わっていたようです。)
また、次世代の日向市を担う小中学生にも積極的に課外授業やイベントを通じて事業に関わってもらう取り組みが行われました。

市民の憩いの場となった駅前広場

事業によって整備された「日向市駅前広場(あくがれ広場)」は市街地の新たな賑わいの拠点として使用されています。日向の夏の風物詩「ひよっこ祭り」をはじめ、2023年4月～9月では祭りやフリーマーケットを中心にほぼ毎週末にイベントが実施され、延べ6.2万人に利用される市内の一大交流拠点となっています。
また、経年によって黒ずんできた木製の車止めなどをきれいにするためのサンダーがけを小中高生と一緒にやるなど、景観教育の大切な場としても利用されています。

日向では一連の事業を通じて、日向のまちづくりにおける重要な要素を伝えていくために「たまりちゃんの5つのたからもの」という冊子が作られました。倶知安でも地域の大きな景観要素をまちづくりに反映していきたいですね。(濱崎)



●次世代のまちづくりに向けた人材育成

～日向市・都農町～

日向市商工会議所・日向市キャリア教育支援センター「よのなか教室」「14歳のよのなか挑戦」

Before

宮崎県では地元就職率が非常に低く、離職率も全国ワースト3位になるなど
人材輩出県になっている

県全体での問題意識

学校だけではなく、商工会議所等を中心に
街全体でキャリア教育を実施すべきでは？

日向市では「日向の大人はみな子どもたちの先生」をキャッチフレーズにキャリア教育を実施

よのなか教室

地域の社会人を「よのなか先生」として登録(現在183名)し、日向市内の小中学校や高校などで職業講話を実施しています。地元の魅力ある大人から郷土の良さを実感し、働く喜びや苦労から学ぶ意味を考えてもらう取り組みです。

14歳のよのなか挑戦

市内の中学2年生を対象とした社会体験学習です。よのなか教室での知識を踏まえた上で実施する職場体験を通じて、生徒自ら課題を見つけ、新商品や新サービスを提案するなど、より実践的な「課題探求型学習」を目指しています。

After

日向市内(実業)高校の県内就職率は事業を開始した2014年から約15%改善して約80%になっている一方、市内就職率は30%以下が続いており、伸び悩みが課題になっている

株式会社イツノマ「まちづくり部」(都農町)

中学生が主役!「稼ぐ」まちづくり教育

高校がないため、必然的に進学は町外に…

このままでは
未来の都農町は
危うい!

町内に仕事がなく、戻ってこない…
2007年度の町内小学校卒業生110名(現在28歳)
のうち現在の町内在住はわずか10名

自ら仕事をつくれるスキルが学べ、町を自分で変えられるという意識が持てる環境が必要では？

株式会社イツノマが手がける「まちづくり教育」



倶知安のお土産も喜んでもらえました!

★まちづくり部の活動を見学してきました!

まちづくり部は、「中学生がやりたいことを実践する」ことを目的に創部された中学生による地域クラブです。創部当初に自分たちでやりたい100のことを作り、その中からYouTube制作やみちくさ市(月に1回市街地中心部の町有地で開催される定期市)で出店者として企画・販売するなど様々な活動を行っています。私たちが見学した際には3月に実施された町民向けの活動報告会のリハーサルをしていました。実際に収支を踏まえて出店内容を企画するなど、非常に実践的な内容で中学生が「稼ぐ」経験をしながら楽しんで活動している様子がわかりました。



Q & A 中学生に聞いてみました

- Q.活動を行っていて楽しいところはどのようなところ？
A.仲間と企画を考えて楽しく活動できること、お金を実際に稼ぐ経験ができること
Q.みちくさ市での企画を実施する際に一番大変だったところは？
A.準備よりも当日の接客。お客さんに来てもらうために声出しをするなど商売することの大変さがわかった。

倶知安でも中学生にとって財産となるようなまちづくり教育やキャリア教育を実現していきたいと思いました。(濱崎)